



依 万智選

ただいちど使ったきりのシナモンがきみへの希求のようにある棚 東京都 鳥さんの臉

【評】アップルパイ？ シナモンティー？ 君へのもてなしに用いたシナモンが、それ以来使われずにいる。また使われることを願っているのは、シナモンではなく作中主体だろう。背景のドラマを喚起する力が素晴らしい。

膜という薄い重みを沈めつつミルクを混ぜるあなたの部屋で 所沢市 里見 脩一

【評】温めすぎたミルクの表面にできた膜。それをごまかすように混ぜている。その膜が、心に重なることが伝わって、不穏な空気だ。涼しげな大きな窓のむこうには三十九度の街路樹がある 東京都 青木 公正

【評】室内から窓越しに見ているのだろう。三十九度は外気温だが、まるで樹木が発熱しているように表現して、暑さが伝わってくる。ほしかった自由が余る 子のいないベッドでうんと足を伸ばして 朝霞市 桐島 あお

濃みどりの稲田のいねをなびかせて風はひかりの帯をともしなふ 市原市 井原 茂明

テトリスのように予定を組みあわせ消去していくプロセスが好き 東京都 玉井 洋介

ワイシャツの襟寬がせきみが夏と思っているものが夏 大和郡山市 大津 穂波
信号のみどりを青と呼ぶように嫌じゃないと答えてしまう 高島市 くらたか湖春
飛行機を怖がる彼がインドへと飛び立つほどの別れであった 京都市 寺西 和史
なんらかのお祭りがゆく大通り止めてドンドン ドコドコがゆく 大阪市 畑 依裕



黒瀬 珂瀾選

NO WARのシールわたしはひっそりとあなたは晴れ晴れと携帯に 八王子市 吉村のぞみ

【評】反戦の意思を堂々と示す「あなた」。一方で自分は少し気が引ける。でも、個人の思想は誰もが自由に表現していいはず。

シール一枚に分かち合う、戦争反対への祈り。絃一に一字飛び跳ね遊んでた小学いまは草生す 廃校 大和郡山市 四方 護

【評】軍国日本のスローガン「八紘一宇」から名付けられた子どもたち。そんな戦中派の学童が大勢いた時代も遠く過ぎ、今や少子化の現代。時の移ろいをただ遙かに思います。エンジン音ひびかせ草刈り隊登場じいじとはあ 浜松市 久野 茂樹

【評】じいじはあははまだまだ現役。地域の草刈りに大活躍です。高齢者の社会参画は実に大切。どうか熱中症には気をつけて。また一つドナルドが法を振り曲げる空き地に広がるぎしぎしの花 新潟市 古泉 浩子

八十五歳に百姓やめよの引導か玉蜀黍の全て倒れる 福知山市 阪梨 義春

有線が無線に変はる世の中をつぶさに見つた老いにけらしも 東金市 山本 寒苦

もう主の帰って来ない軒先に次の風待つ風鈴ひとつ 姫路市 平手 礼子
極楽へゆけるように、と短冊に代筆したるケア マネージャー 松原市 たりりずむ
わたくしは生きてゆきますコンクリの隙間より咲くペチュニア強し 日高市 中村 幸
みつづみの水を掬ったこの両手でこわしてきたものを思った 四万十市 佐竹 紫円

◇投稿規定◇ はがき1枚に未発表の1作品。住所、氏名（ふりがな）、電話番号を明記。◇他の媒体、選者への二重投稿は厳禁です。選者が添削することもあります。〒103・8601、にほんばし蔵前郵便局留、読売歌（俳）壇、〇〇先生（希望選者名）係または読売新聞オンラインから ◇毎週月曜日に掲載 右の影絵はやまゆり